



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 浅野正也  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 佐藤和規 (TEL) 03-6366-7777  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,682	2.6	△186	—	△101	—	△97	—
2019年3月期第1四半期	14,312	0.3	28	△93.6	79	△83.5	△55	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △252百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △305百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△6.07	—
2019年3月期第1四半期	△3.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	84,583	23,343	27.6
2019年3月期	84,595	24,246	28.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,343百万円 2019年3月期 24,246百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	4.7	2,000	134.1	2,000	120.1	1,500	877.8	93.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	16,268,242株	2019年3月期	16,268,242株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	145,942株	2019年3月期	145,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,122,400株	2019年3月期1Q	16,121,547株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式(2020年3月期1Q:134,300株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境が概ね堅調に推移いたしました。世界経済に目を移すと米中貿易摩擦長期化の影響等、大きな懸念も生じております。

このような状況のもと、当社グループでは、「国内事業の基盤強化」、「新素材・新技術への挑戦」、「海外展開」の3つをキーワードとして展開している中期経営計画「TCT-Focus2020」の最終年度を迎え、残念ながら環境変化、進捗遅れ等により当初目標の達成は困難な見込となりましたが、次期中期経営計画に繋げるべく、現中期経営計画で積み残した課題に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、産業機械の大口受注やエレベーターロープが好調に推移したことにより、14,682百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

利益面では、太陽光発電向けシリコンウェハー切断用細物ワイヤの売上減少等により、営業損失は186百万円（前年同期は28百万円の営業利益）、経常損失は101百万円（前年同期は79百万円の経常利益）となりました。また、投資有価証券売却益60百万円等の特別損益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は97百万円（前年同期は55百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (鋼索鋼線関連)

東京オリンピック準備や首都圏の高層ビル再開等によるエレベーターロープを始めとした国内ワイヤロープ需要は好調に推移するなど、当事業の売上高は6,959百万円（前年同期比1.7%増）となりましたが、国内工場の合理化投資等に伴う減価償却費の増加等により、営業利益は334百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

## (スチールコード関連)

中国におけるタイヤコードの販売数量の減少および中国向け太陽光発電向けシリコンウェハー切断用細物ワイヤの需要減少等により、当事業の売上高は2,588百万円（前年同期比9.9%減）、営業損失は322百万円（前年同期は111百万円の営業損失）となりました。

## (開発製品関連)

海外における防災製品の大口案件を売上げたことおよび国内の橋梁関連が堅調に推移したため、当事業の売上高は2,310百万円（前年同期比5.2%増）、営業損失は452百万円（前年同期は498百万円の営業損失）となりました。

## (不動産関連)

当事業の売上高は320百万円（前年同期比6.5%増）と堅調に推移いたしました。商業施設の運営費用が増加したため、営業利益は43百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

## (その他)

産業機械関連の売上が増加し、当事業の売上高は2,503百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は210百万円（前年同期比78.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現預金、棚卸資産が増加したものの、売掛金や評価替えによる投資有価証券の減少により、前連結会計年度末と比べ11百万円減少の84,583百万円となりました。

負債については、長期借入金が増加する一方、短期借入金の増加により、前連結会計年度末と比べ890百万円増加の61,240百万円となりました。

純資産については、配当金の支払い及び有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末と比べ902百万円減少の23,343百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,331	3,985
受取手形及び売掛金	13,898	12,669
商品及び製品	6,395	6,515
仕掛品	4,603	4,678
原材料及び貯蔵品	4,370	4,967
その他	1,398	1,645
貸倒引当金	△16	△19
流動資産合計	33,980	34,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,763	7,811
機械装置及び運搬具（純額）	7,695	8,042
土地	18,305	18,304
建設仮勘定	978	791
その他（純額）	1,466	1,361
有形固定資産合計	36,209	36,312
無形固定資産	796	807
投資その他の資産		
投資有価証券	7,555	6,674
退職給付に係る資産	158	178
繰延税金資産	2,911	3,012
その他	3,294	3,491
貸倒引当金	△312	△335
投資その他の資産合計	13,608	13,021
固定資産合計	50,614	50,141
資産合計	84,595	84,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,301	12,150
短期借入金	12,437	13,438
未払費用	2,559	2,640
賞与引当金	833	1,236
その他	5,845	6,065
流動負債合計	33,977	35,531
固定負債		
長期借入金	14,971	14,510
再評価に係る繰延税金負債	4,183	4,183
退職給付に係る負債	4,633	4,579
その他	2,583	2,436
固定負債合計	26,371	25,708
負債合計	60,349	61,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	684	684
利益剰余金	14,036	13,288
自己株式	△309	△309
株主資本合計	15,411	14,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	△131
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	9,718	9,718
為替換算調整勘定	△247	△179
退職給付に係る調整累計額	△792	△727
その他の包括利益累計額合計	8,834	8,680
純資産合計	24,246	23,343
負債純資産合計	84,595	84,583

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,312	14,682
売上原価	11,599	12,164
売上総利益	2,713	2,518
販売費及び一般管理費	2,685	2,704
営業利益又は営業損失(△)	28	△186
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	78	90
持分法による投資利益	△21	61
その他	107	50
営業外収益合計	168	213
営業外費用		
支払利息	71	67
為替差損	9	—
その他	35	61
営業外費用合計	117	128
経常利益又は経常損失(△)	79	△101
特別利益		
投資有価証券売却益	—	60
特別利益合計	—	60
特別損失		
減損損失	—	10
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	109	0
特別損失合計	109	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△30	△62
法人税等	25	35
四半期純損失(△)	△55	△97
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	△97

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△55	△97
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	△286
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△367	32
退職給付に係る調整額	292	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	35
その他の包括利益合計	△249	△154
四半期包括利益	△305	△252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△305	△252

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,844	2,873	2,196	300	12,214	2,098	14,312	—	14,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	28	1	—	72	182	254	△254	—
計	6,886	2,901	2,198	300	12,286	2,280	14,567	△254	14,312
セグメント利益又は セグメント損失(△)	447	△111	△498	73	△89	117	28	—	28

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,959	2,588	2,310	320	12,178	2,503	14,682	—	14,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	42	2	—	85	179	265	△265	—
計	6,999	2,631	2,313	320	12,264	2,683	14,948	△265	14,682
セグメント利益又は セグメント損失(△)	334	△322	△452	43	△396	210	△186	—	△186

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。